

科目名	特別支援教育と作業療法			ナンバリング	ASC270	授業形態	講義
対象学年	1 年	開講時期	後期	科目分類	必修	単位数	2 単位
代表教員	北山 淳	担当教員					

授業の概要	作業療法士が学校へ入り、特別支援教育への参加の機会が増えてきている。各種専門家から構成される「専門家チーム」の一員として、教員等への指導や助言が求められる。本授業科目では、特別支援教育で活躍ができる作業療法士を育成するため、特別支援教育の現状を学ぶとともに、特別支援学校での授業場面の見学や生徒・教員との交流を図り、特別支援教育における作業療法士の役割等を理解することを目的とする。		
到達目標	①障害や特別支援教育について理解できる。 ②特別支援学校・特別支援学級の教育課程を理解できる。 ③障害児理解、指導方法等の基礎・基本が身につく。		
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な予備知識など)	特別支援教育の基礎的知識の習得と共に、作業療法士としてのノーマライゼーションの理念に基づいた障害観をつくりあげて欲しい。		
ディプロマポリシーとの関連	【健康医療科学部作業療法学科のディプロマポリシー】		
	1	広い視野と豊かな教養に基づき、健康の維持・増進およびリハビリテーション専門職の担い手としてふさわしいヒューマニズムと倫理観を身につけている。	
	○	2	地域に住む孤立しがちな人びとや、心身および生活上の障害を抱えた人びとの個別な健康・医療課題を的確に把握し、子どもから高齢者に至るまでその人らしく生活できるように、その生活支援や就労支援を行うことで、積極的に地域貢献できる能力と態度を身につけている。
		3	健康・医療に関わる課題を解決するために、作業療法の専門的な過程を用いて根拠に基づいた科学的思考が展開でき、優れた作業療法技術を駆使して生活能力の再獲得への支援ができる。
		4	健康・医療に関わる作業療法の専門家として科学と健康・医療の進展に対応するために、生涯にわたって持続可能な主体的且つ能動的な学修ができる。

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
1. 障害や特別支援教育について説明できる。 2. 特別支援学校・特別支援学級の教育課程を説明できる。	1. 障害や特別支援教育について理解できる。 2. 特別支援学校・特別支援学級の教育課程を理解できる。 3. 障害児理解し指導介入ができる。

成績評価観点 評価方法	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合
定期試験(中間・期末試験)	●						80%
小テスト・授業内レポート	●						10%
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加		●	●	●			10%

課題、評価のフィードバック	manabaによるフィードバックを行う
---------------	---------------------

授業計画	回次	テーマ	授業内容	備考
	第1回	【障害とは何か】オリエンテーション	自分と障害・障害者の関わりの経験をまとめておく。	
	第2回	【特別支援教育の目指すもの】個の教育ニーズ	特殊教育と特別支援教育について	
	第3回	【障害と人権】ICFの障害観・インクルーシブ教育	障害者の権利関する条約24条教育について	
	第4回	【障害の理解と支援：視覚障害・聴覚障害】	視覚障害・聴覚障害について	
	第5回	【障害の理解と支援：肢体不自由・病弱】	肢体不自由・病弱について、教科書で確認しておく。	
	第6回	【障害の理解と支援：知的障害】	知的障害について	
	第7回	【障害の理解と支援：言語障害・重複障害】	言語障害・重複障害について	
	第8回	【障害の理解と支援：自閉症・情緒障害】	自閉症・情緒障害について	
	第9回	【障害の理解と支援：LD・ADHD】	LD・ADHDについて	
	第10回	【特別支援学級の教育課程】	特別支援学校の教育課程について	
	第11回	【特別支援学級の教育課程】	実態の理解と対応	
	第12回	【通級による指導】	通級指導教室の教育課程について	
	第13回	【通常学級での特別支援教育】	通常の学級での「気にかかる子」の支援について	
	第14回	【特別支援教育の諸制度】	個別の教育支援計画・個別指導計画	
	第15回	【障害児理解・人間理解】	まとめ	
試験		全講義終了後に期末試験（筆記試験）を実施する。試験範囲は全範囲とする。試験実施日は、掲示板およびポータルサイトに掲示されるので必ず確認すること。		
授業の進め方		基本的に講義と質疑応答とする確認小テストを実施する場合もある。		
授業外学習の指示		資料を中心に講義の内容を復習する。不明な点は必ず教科書で確認するか教員に質問すること（予習90分、復習90分） （授業外学習時間： 毎週 180 分）		

教科書	特に指定しない
参考書	特に指定しない
参考URLなど	
その他	